

2026年1月29日

各 位

本社移転のお知らせ

中外製薬株式会社（本社：東京、代表取締役社長 CEO：奥田 修）は、2029年春（予定）に本社機能を八重洲二丁目中地区へ移転することを決定しましたのでお知らせいたします。

中外製薬は、2030年の目指す姿として「ヘルスケア産業のトップイノベーター」を掲げ、成長戦略「TOP12030」を策定し、R&D アウトプットの倍増、革新的な自社グローバル品を毎年上市できる会社を目指しています。今回の移転は「TOP12030」の実現とその先のさらなる長期的な成長へ向けた投資として位置づけています。

新オフィスは、多様な社員の主体的な挑戦と成長を加速させ、社内のコミュニケーションと連携をさらに促進し、社外パートナーとの共創を強めていくことで、イノベーションを創出する場とします。また、新オフィスでは国内最大規模のフロア面積を活かし、現本社が抱える社員の分散によるコミュニケーションの取りづらさや執務席の不足等の課題を解決します。

本社機能移転先物件概要

事業名：八重洲二丁目中地区第一種市街地再開発事業

所在地：東京都中央区八重洲二丁目 4～7 番

（東京駅・京橋駅直結）

移転時期：2029年春（予定）

貸主：三井不動産株式会社

特徴：東京ミッドタウン八重洲を含む「東京駅前3地区

再開発」の集大成となる東京駅前最大級のミクス

トユース（オフィス、商業施設に加え、サービスアパートメント、インターナショナルスクール、

劇場、バスターミナルを含む）プロジェクト



外観イメージ（東京駅八重洲口側）

以上